



# 蟹江小だより

ちがいは宝物 ~響かせよう！蟹江のハーモニー~

蟹江町立蟹江小学校

第37号

令和8年2月13日

発行者：佐古達哉

## ♪「第2回 学校保健委員会」を開催しました

1月29日（木）午後には、学校医・保護者の代表（PTA役員）の皆様にご来校いただき、「第2回 学校保健委員会」を開催しました。今回の学校保健委員会は、今年度の本校の経営方針にある「外部諸機関と連携した包括的性教育の実施を目指しつつ、人権教育のさらなる深化を図る」という取組の一環として、いなべ総合病院産婦人科医の川村真奈美先生、助産師の葛西ちかげ先生のお二方を講師にお招きして、6年生を対象にした「性と人権のおはなし」と題した授業と併せた形で実施をしました。当日は、学校保健委員会の参加者に加えて、参観を希望された保護者にもご来校いただくことができ、多くの皆様から貴重なご意見をいただきました。

6年生に実施をした授業では、人権保護・尊重の観点から、「プライベートゾーン」「LGBTQ+」「男性・女性の体のつくり」「妊娠・出産」「子宮頸がんワクチン」などをキーワードにしつつ授業を進めていただきました。授業を受けた6年生の子たち、参観された保護者の感想の一部を以下に掲載します。



### 【6年生の感想より】

- 自分のお母さんが大変な思いをして生んでくれたんだと改めて思いました。女性の体のつくりはだいたい知っていたけど、男性の体のつくりはあまり知らなかつたので知れてよかったです。
- 人の命ってキセキなんだと思いました。命の重さ・友達の大切さを改めて感じました。3億分の1の確率を大切にして、これからも生きていこうと思いました。
- 月経で女性がものすごく苦労していることが分かりました。性暴力が絶対にダメということも分かりました。
- イヤなことはイヤと、ちゃんと言っていいと思いながら生活をしていこうと思いました。
- 人はそれぞれ十人十色だということが分かりました。人と違っても、あまり悩みこまなくていいことが分かりました。
- あまり知らなかつたことが知れて人生の手助けになりました。赤ちゃんを産みたかったけど、大変なことを知ってどうしようか悩みました。子宮頸がんワクチンも打とうと思いました。自分の性器の名前が知れて勉強になりました。性のことで悩んだら、すぐに相談します。人権も大切にします！そして、人生を大切に生きようと思います！
- 知ることが、人への思いやりになることが分かりました。改めて、この命に感謝しようと思いました。
- 今日のお話は難しかつたけど、大人になるために必要なことで、やり方や使い方で悪人にも善人にもなる

ことが分かりました。

- ・ 性暴力は絶対にダメだと分かりました。自分のことだけでなく、相手のことを考えるのが大切なんだと思いました。
- ・ 僕は将来、性暴力を受ける側にも、受けさせる側にもなりたくないと思いました。これからちゃんと、人の「透明バリア」に入らないようにしたいです。
- ・ これから先、生きていくために必要なことを知れました。この気持ちを忘れず、もう一度ママに「ありがとう」と言いたいです。家へ帰ったら、子宮頸がんワクチンのことを聞いてみます。

#### 【参加された保護者の感想より】

- ・ 家庭ではなかなか教えることのできない、大切な知識を子供達にお話いただけたことに、とても感謝しております。この授業に立ち会えて本当によかったです。近頃、性犯罪のニュースが多発していて、子供の将来を案じておりましたが、自分の身を守ることができるよう、そして、困った時はいつでも話ができる親でありたいと思いました。今日は子供が産まれた時の気持ちを思い出し、幸せな気分です。素直に「産まれてきてくれてありがとう」と思いました。改めて本日は、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。
- ・ 親子間では、ここまで話はできないと思いました。医師、助産師の方だからこそ、子どもたちに説得力を持って話せる内容で、性に興味を持ち始める時期の子どもたちに必要なお話をと思いました。また、親も同じ話が聞けたことは家庭でも同じテンションで話がしやすくなるなど感じます。ありがとうございました。

こういった「性」や「人権」に関する学びの機会が「全ての人にとって、同じように大切なこと」と捉え、今後もよりよい指導計画づくりに学校全体で取り組んでいきたいと思います。今回の実施を通じて、ぜひご家庭でも「性」や「人権」について、お子様や家族と話をする機会につなげていただけると幸いです。

#### ♪ さらなる「安心・安全な学校づくり」をめざして…

学校では、「令和8年度 前期児童会役員選挙」を12日（木）1時間目に開催しました。その詳細については次回以降の学校だよりでお伝えをしますが、今回の選挙に立候補した子たちが「安心・安全な学校にしたい」「笑顔あふれる学校にしたい」など、今後の学校づくりに対する思いを熱く語る様子が心に残る、素敵な立会演説会っていました。

社会的には、「いじめ」事案に関する動画の拡散等について、年末年始の頃から多く報道されるようになっていますが、本校でも昨日の選挙から伝わる子どもたちの思いも真摯に受け止め、改めて以下の点を教職員・児童で確認・共有をしていきます。ご家庭でも、蟹江小から悲しい、つらい思いをする子が出ないよう、ぜひさまざまな面からお子様と話をするきっかけにしていただきますよう、ご協力をお願ひいたします。

#### ★ 「いじめ」は、絶対に許さない！

「いじめ」は決して許されるものではありません。事案によっては、暴行罪や傷害罪等の犯罪行為に該当し、状況によっては警察との連携も検討します。被害者だけでなく、周りの人も決して傍観者にならず、なるべく早い段階で先生や保護者に相談をして、学校みんなで「いじめ」が続く状況をなくしましょう！

#### ★ 「動画・画像」拡散による被害を生まないように

動画・画像の拡散は、思わぬトラブルや被害を生む原因になります。友達や家族、さらに自分自身を撮影した動画・画像であっても、気軽にSNSやインターネット上に公開することは控えましょう。また、スマートフォンやタブレットの使用については、ルールや管理を家族としっかり話し合って、思わぬ被害やトラブルに巻き込まれないような使い方になるよう気をつけましょう。